

各種テストデータ

テストデータ

床材性能一覧表

製品の種類	規格厚さ	JIS記号	へこみ量			残留へこみ量	加熱による長さ及び巾変化率		密度	防滑性 C.S.R. 値		摩耗性(厚さ減少量)		退色性	
			20℃	23℃	45℃		タテ	ヨコ		500回	1000回				
			mm	mm	mm		%	%		mm	mm	級			
タイプ	mm		mm	mm	mm	%	%	kg/m ³	清掃	水+ダスト	mm	mm	級		
E・E2	1.8	KS	0.71	—	—	0.14	-0.08	-0.10	402	0.76 ^{#1}	0.46 ^{#1}	0.05	0.09	5	
CHD	CHD2308・2309 上記以外	3.5	KS	2.33	—	—	0.30	-0.10	-0.08	369	0.55 ^{#1}	0.44 ^{#1}	0.07	0.10	5
				2.28	—	—	0.26	-0.13	-0.15	417	0.55 ^{#1}	0.44 ^{#1}	0.07	0.13	5
CES	2.0	KS	0.82	—	—	0.19	-0.07	-0.12	499	0.55 ^{#1}	0.47 ^{#1}	0.08	0.12	5	
S	2.3	KS	—	1.05	—	0.16	-0.10	-0.15	468	0.96 ^{#2}	0.51 ^{#2}	0.10	0.15	5	
SXG	2.3	KS	—	1.06	—	0.15	-0.10	-0.13	469	1.01 ^{#2}	0.56 ^{#2}	0.08	0.13	5	
NNP800	2.5	FS	—	0.96	1.20	0.19	-0.48	-0.12	—	0.81 ^{#2}	0.67 ^{#2}	0.06	0.15	5	
NNP600	2.5	FS	—	0.88	1.19	0.20	-0.49	-0.11	—	0.87 ^{#2}	0.68 ^{#2}	0.05	0.09	5	

●上記試験方法は、JIS A 1454 に準拠。*1 合成樹脂スリッパの底を想定したもの。*2 紳士靴の硬底を想定したもの。

副資材適応床材一覧

品名	種類	継ぎ目処理剤	溶接仕上	継ぎ目・端末処理
		シームシーラー	溶接棒	SGスーパーシーラー
E・E2	○			
CHD	○			
CES	○			
S	○			
SXG	○			
NNP800		○		○
NNP600		○		○

衝撃吸収性能

転倒時や物を落とした時の衝撃をやわらげる性能の一つに衝撃吸収性能があります。

衝撃吸収性試験 JIS A 6519に準拠

床材	総厚(mm)	床に衝突した時の加速度									
		衝撃吸収性に優れる ←									
		(G)0	90	100	110	120	130	140			
一般フローリング	12.0	135	[Bar chart showing acceleration values]								
ボンリュウムEタイプ	1.8	126	[Bar chart showing acceleration values]								
ボンリュウムCHDタイプ	3.5	98	[Bar chart showing acceleration values]								

【数値の判断基準】

床材の衝撃吸収性はG値(衝突時の衝撃加速度)で表され、この値が小さいほど衝撃が小さく、衝撃吸収性が良い目安となります。

耐汚染性能

ボンリュウムの性能は、JIS A 1454において規定されるものと一般生活上で使用されているものが中心となります。染料等が含まれるものについては、床にこぼれた時にすばやく拭き取れば着色や変色を防げる場合もあります。上手な使い方によって、床をきれいに長持ちさせることが出来ます。

耐汚染試験

汚染物質	試験結果
2%水酸化ナトリウム水溶液	異常なし
5%塩酸	異常なし
セメントペースト	異常なし

【試験方法】 JIS A 1454に準拠

試験片の表面に試薬(汚染物質)を2mL滴下し、時計皿をかぶせて24時間静置する。その後、家庭用中性洗剤を含む水で洗い、さらに工業用アルコールで表面を拭き取って1時間静置する。静置後、照度750Lx以上の照明器具を用いて、目視にて滴下部分の色及び光沢の変化を確認し、汚染性を評価する。

その他の物質

汚染物質	色の变化	光沢の変化	材質の彫れ
コーヒー・紅茶・コーラ	△	○	○
ソース・マヨネーズ	○	○	○
口紅・マニキュア・ヘアトニック	×	○	○
クレヨン・墨汁	○	○	○
ボールペン	△	○	○
油性マジック・毛染め液・靴墨	×	○	○
10%アンモニア水溶液	○	○	○
5%石炭酸水溶液	○	○	○
牛乳	○	○	○
醤油	○	○	○

評価 ○:変化なし △:わずかな変化 ×:大きな変化
*自社試験の結果によるもので、保証値ではありません。
*製品の色によって異なる場合がございます。

【試験方法】

試験片の表面に直径10mmの円形になるように試薬(汚染物質)を滴下、または2mL滴下させた後、時計皿をかぶせて24時間静置する。その後、①乾いたガーゼで拭き取り、②適当な中性洗剤を含む水を湿したガーゼで拭き取り、さらに③アルコールを含んだガーゼにより試験片の表面を拭き取ってそれぞれの処置後、目視によって滴下部分の色、光沢の変化及び彫れを観察し評価する。

表面傷付き性能

荷重の変化による傷や、落下物による傷を最小限に抑え、きれいな床を保ちます。

試験結果

高さ	150mm	350mm	750mm
CES	変化なし	変化なし	少し跡が残る
フローリング(木板)	傷がつく	傷がつく	傷がつく

スクラッチ試験 (表面傷付き性評価方法)

1. サンプルをスレート板に張り付けた試料取り付け台にセットする。
2. 試料から高さ150mm、350mm、750mmの位置にストッパーから落下片を落とし、試験を行う。
3. サンプルの破損状況を観察する。

防滑性能

床の滑りは、歩行感に大きく影響を与えます。滑りすぎでは危険ですし、適度な滑りがなければつっかかり危険であると共に歩行者に疲れを与えます。つまり、床には歩行しやすさと適度な滑りが必要となります。

OY-PULL試験

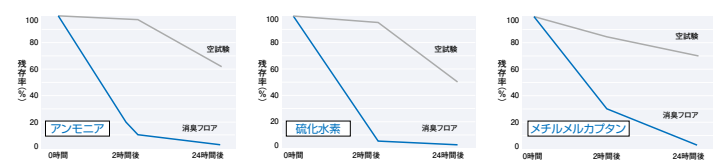
水平面に一定荷重(80kg)をかけた滑り片を、18度の角度で80kg/秒の力で引っ張った時の静止摩擦係数を測定します。評価はC.S.R.値が大きいほど滑りにくいとされています。

消臭性能

CHD・CESの消臭性能評価

【CHD・CESタイプの消臭機能について】

CHD・CESタイプの消臭機能は悪臭を効果的に抑制する為のものであり、発生源を取り除くものではありません。使用環境によっては十分な効果が出ない場合がございますので、ご注意ください。



【試験方法】

- サンプルを半分に折り曲げ端をアルミテープでシールし、消臭試験サンプルとした。
- サンプル1枚をテドラバックに入れ、空気1リットルを注入した。
- 試験ガスを所定量注入した。
- 2時間、24時間後残存ガス濃度を測定した。
- サンプルを用いずに同様の評価を行い空試験とした。

表面滑り性能

試験結果

高さ	CES	フローリング(木板)
滑り出し角度 ^{※1}	28°	23°

注1:滑り片にストックング裏面をセットした場合

表面滑り性試験 (スリップテスター)

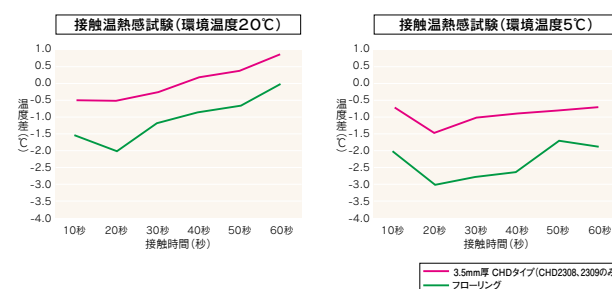
1. サンプルを傾斜台に置き、滑り片(650g)を傾斜台の下から110インチのところセットする。
2. 上昇スイッチをONにし、何度の角度で滑り出すか確認する。(1°/sec)
3. 滑り片には、ストックングを裏面にセットしたものと、ステンレス面(ブランク)で測定する。

接触温熱感試験

●試験項目

人体による接触時間と接触部温度変化の評価(環境温度5℃と20℃の場合)

●試験データ



【試験方法】

環境温度をそれぞれ5℃と20℃に設定し試験体を放置。人体の手の平の温度をブランクとして、各種試験体に接触し10秒間隔で60秒まで放射温度計で測定する。ブランクの温度と測定した温度の差をグラフ化し接触温熱感を評価する。(同条件で3回測定)

*下地はコンクリートスラブ

※上記数値は測定値であり、保証値ではありません。